

令和6年度 施政方針 主要事業紹介



2月19日、山田裕一市長が第467回白石市議会定例会で施政方針演説を行い、令和6年度の市政運営の基本的な考え方を明らかにしました。今月号では、その内容と本年度の主立った事業をお知らせします。

Target 1 人・文化を育む



- 不登校対策の柱「白石きぼう学園」
不登校に悩む児童生徒が、自分の良さや特徴に気付き、社会的自立に向かうことができる学校「白石きぼう学園」を柱に、引き続き、地域、企業、行政などと連携・協働した教育活動を推進します。
- 「教育部」「こども未来課」を新設
教育施策を推進する体制を強化するため、教育委員会に「教育部」を新設し、「こども未来課」を設置します。保育園を教育委員会所管とし、一元的に幼児教育・保育を担います。
- シビックプライドの向上
地域の歴史遺産・伝統文化を掘り起こし、その魅力を幅広い世代へ情報発信する取り組みを進め、シビックプライドの向上を図ります。

Target 2 みんなで地域づくりを進める



- 協働のまちづくりの推進
「地区計画」の策定を支援するとともに、地区計画を策定した地区が活用できる「人と地域が輝く未来共創交付金制度」により地域の皆さんが思い描く将来像の実現を支援します。
- 市民と行政の情報共有
市内外から注目を集める「市制施行70周年」を迎える本年を「情報発信力強化元年」と位置づけ、インスタグラムなどSNSを活用した情報発信及び子育て支援サイトのリニューアルなどを行い、情報発信力強化を図ります。
- 持続可能な行財政運営
行政手続きのオンライン化、窓口でのキャッシュレス決済などを進め、利便性を実感できる住民サービスの実現を図ります。

Target 3 暮らしをともに支え合う



- 「子育て支援課」「こども家庭センター」を設置
保健福祉部に「子育て支援課」と「こども家庭センター」を設置し、すべての妊産婦、子育て世代、子どもに対して母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関としてさらなる充実と強化を図ります。
- 地域医療体制の充実・健康づくりの推進
指定管理者制度を導入生まれ変わった公立刈田総合病院が、今後も地域住民に信頼される病院としての役割を果たしていくため、指定管理者、医師会などとさらなる連携を図り、安全・安心な医療の提供に努めます。
- 高齢者福祉の充実
新たに策定する「白石市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」に基づき、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう、より一層の高齢者福祉サービスの推進を図ります。

市制施行70周年を皆さんとともに

本市は、令和6年4月1日に市制施行70周年を迎えます。これまでふるさと白石市を守り続けてこられた皆さんに改めて敬意を表しますとともに、愛する白石市を次の世代につないでいく決意を新たにしています。本年10月に、地震被害からの復旧工事を終えるホワイトキューブのコンサートホールにおいて、記念式典を開催するほか、年間を通じて各種記念事業を行いますので、市民の皆さんとともに、この記念すべき70周年をお祝いしたいと思います。

市民生活と地域経済を守る

ロシアによるウクライナ侵攻は、国際的な原材料価格の高騰をもたらすとともに、円安の影響などから、日常生活に密接なエネルギー・食料品などの価格上昇が続いており、市民生活に深刻な影響を及ぼしています。こうした事態に対処するため、本市では、エネルギー・食料品価格などの物価高騰対策として、低所得世帯を支援する「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業」や全市民を対象とした「商品券配布事業」をはじめ、給食用食材仕入れ価格の値上がり分を補助する「学校給食費補助事業」や医療機関などに財政的支援を行う「医療機関等に対する物価高騰対策支援事業」を実施し

てきました。中東情勢の混迷が深まるなど世界情勢が不安定となる中で、先を見通すことが難しい状況にあります。今後も市民生活と地域経済を守るために必要な施策を進めます。

新しい時代のまちづくりを

令和6年度は、「第六次白石市総合計画」の4年目となります。引き続き、本市の目指す将来像「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろういし」の実現に向けて、「ひとづくり」「地域力の向上」「新しい価値の創造」を基本的視点として、市民一人一人がその個性や能力を発揮しながら、地域づくりの担い手として活躍するとともに、新たな視点でさまざまな地域資源や魅力を発見し、育て、高め合うことで、新しい価値を創造し、まちへの誇りと愛着を持って暮らしていくことができるまちを目指します。人口減少や少子高齢化、安全・安心への関心の高まり、社会や経済情勢の変化、地域社会ニーズの多様化、持続可能な社会の実現など、まちづくりを取り巻く環境は大きく変化していますが、市政課題を先送りすることなく、本市が持続可能なまちであり続けるために、市民の皆さんと力を合わせて、新しい時代のまちづくりに積極果敢に挑戦してまいります。